

Management Message

経営メッセージ



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第102期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の事業報告をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社は、グループの進むべき指針として平成17年度から20年度までの4カ年計画である「中期経営計画<V-5プラン>」をスタートさせました。本計画では、当社を取り巻く経営環境の諸変化に対してスピードをあげて適切に対応し、さらなる選択と集中を徹底することによって、より強い企業グループを形成することを目標としております。

当中間期は、カラーMFP（多機能複写機）や液晶偏光板用保護フィルム等、当社が重点分野として販売拡大に注力する事業領域が、業績向上に大きく貢献いたしました。その他の事業も概ね順調に推移し、とりわけ営業利益は394億円となるなど、当初の計画を上回る成果をあげることができました。

構造改革に取り組むフォトイメージング事業（カラーフィルム・印画紙・カメラ）においても、事業分野の絞り込みや経費削減などにより損失幅は縮小いたしました。カラーフィルム等の写真感光材料の需要減少やデジタルカメラの価格下落といった市場環境の変化は、その成果を上回る勢いで進んでいます。こうした傾向は、今後もさらに加速度を増すことが予想されるため、当社はこれまでの計画を大幅に見直し、同事業の規模縮小を前倒しして実施することといたしました。

その結果、当中間期において同事業の生産設備等の減損損失として228億円や構造改革費用を含め287億円の特別損失を計上し、また年間では約900億円の特別損失の計上が見込まれることから、平成18年3月期の中間配当は無配とさせていただきます。また、期末配当につきましても見送りとさせていただきます所存でございます。株主の皆さまには誠に申し訳なく存ずる次第でございますが、フォトイメージング事業の構造改革の実行を加速化させるとともに、グループの総力をあげて早期の業績回復を図ってまいりたい所存ですので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成17年12月

代表執行役社長 岩居 文雄